



平成23年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成22年11月5日

上場会社名 ケンコーコム株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3325 URL <http://www.kenko.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 後藤 玄利
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長 (氏名) 畔上 淳 (TEL) 03(3584)4156
 四半期報告書提出予定日 平成22年11月12日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第2四半期の連結業績（平成22年4月1日～平成22年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	6,356	△0.9	△86	ー	△96	ー	△116	ー
22年3月期第2四半期	6,415	ー	128	ー	121	ー	91	ー

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
23年3月期第2四半期	△3,555	67	ー	ー
22年3月期第2四半期	2,790	99	2,783	09

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
23年3月期第2四半期	4,474		1,825		40.5		55,267 27	
22年3月期	4,197		1,950		46.2		59,198 78	

(参考) 自己資本 23年3月期第2四半期 1,811百万円 22年3月期 1,939百万円

2. 配当の状況

	年間配当金							
	第1四半期末		第2四半期末		第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭
22年3月期	ー	ー	0	00	ー	ー	0	00
23年3月期	ー	ー	0	00	ー	ー	ー	ー
23年3月期(予想)	ー	ー	ー	ー	ー	00	0	00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無：無

3. 平成23年3月期の連結業績予想（平成22年4月1日～平成23年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、第2四半期（累計）は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	13,560	8.4	△200	ー	△230	ー	△250	ー	△7,628	33

(注) 当四半期における業績予想の修正有無：無

4. その他（詳細は、【添付資料】P. 3「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動：無

新規 ー 社（社名）、除外 ー 社（社名）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用：有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更：有

② ①以外の変更：無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

23年3月期2Q	33,235株	22年3月期	33,228株
23年3月期2Q	459株	22年3月期	459株
23年3月期2Q	32,772株	22年3月期2Q	32,606株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施しています。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成されたものであり、実際の業績等は今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間(以下、「当第2四半期」)におけるわが国経済は、海外経済の改善を起点に一部に持ち直しの兆しが見られるものの、為替レート・株価の変動などによる景気の下振れ懸念から雇用情勢は依然として回復の傾向がみえず、個人消費は引き続き厳しい状況が続きました。

このような経営環境の中、当社グループにおいては、当社の強みである取扱商品数を増加させることができなかつたことと、競合他社の実質的な値下げの影響もあって、売上高を伸ばすことができず、パンデミック対策関連商品の売上急増があった前年同期の売上を下回る結果となりました。

利益面におきましても、売上が予想を下回ったことに加え、Kenko.com Singapore Pte. Ltd.及びドラッグ・ラグは正支援事業の先行投資が発生したことにより赤字となりました。

当社といたしましては、売上を再び成長軌道にのせることを最優先として、9月に実質的な値下げとなる送料無料ラインの引下げを実施しました結果、その後の売上高に増加の兆しが見えてきております。

これらにより、当第2四半期における当社グループの業績は、売上高6,356百万円(前年同期比0.9%減)、営業損失86百万円(前年同期は営業利益128百万円)、経常損失96百万円(前年同期は経常利益121百万円)、四半期純損失は116百万円(前年同期は四半期純利益91百万円)となりました。

セグメントの業績は、以下のとおりであります。

「リテール事業」

リテール事業では、主にインターネット上の健康ECサイトを通じて、健康関連商品を一般消費者向けに販売しております。

平成22年9月末現在の取扱商品数は11万8,865点(Kenko.com Singapore Pte. Ltd.取扱商品を除く)でありました。取扱商品数を増加させることができなかつたこと、また競合他社の実質的な値下げの影響もあって、売上高を伸ばすことができませんでした。全体としてはパンデミック対策関連商品の売上急増があった前年同期を下回る結果となり、当第2四半期におけるリテール事業の売上高は5,664百万円(前年同期比1.8%減)となりました。

「ドロップシップ事業」

ドロップシップ事業では、小売事業者向けに健康ECプラットフォーム機能を提供しております。

当第2四半期は、主として新規顧客の売上規模拡大により、ドロップシップ事業の売上高は641百万円(前年同期比5.7%増)となりました。

「その他の事業」

その他の事業では、メーカー・卸向けに商品の広告掲載やブランディング、プロモーション支援等を行うメディア事業等を行っております。

当第2四半期には、顧客開拓が順調に進み、その他の事業による売上高は50百万円(前年同期比23.8%増)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて276百万円増加し、4,474百万円となりました。これは主に、現預金及びたな卸資産等の流動資産が増加したことによるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べて402百万円増加し、2,648百万円となりました。これは主に買掛金及び未払金の増加、借入金の増加によるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べて125百万円減少し、1,825百万円となりました。これは主に純損失の計上に伴い、利益剰余金が減少したことによるものです。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末(以下、「当四半期末」)における現金及び現金同等物残高は、期首より204百万円増加し、817百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

「営業活動におけるキャッシュ・フロー」は8百万円の収入(前年同期は530百万円の収入)となりました。主な増加要因は、減価償却費149百万円、仕入債務の増加額52百万円であり、主な減少要因は税金等調整前四半期純損失114百万円、たな卸資産の増加93百万円及び売上債権の増加34百万円であります。

「投資活動におけるキャッシュ・フロー」は89百万円の支出となりました。これは主に、システム投資による無形固定資産の取得による支出64百万円、有形固定資産の取得による支出25百万円によるものであります。

「財務活動におけるキャッシュ・フロー」は288百万円の収入となりました。これは主に、長期借入による収入450

百万円、短期借入による収入250百万円、短期借入金の返済による支出200百万円、長期借入金の返済による支出145百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成22年10月28日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」における業績予想を変更しておりません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

固定資産の減価償却費の算定方法

減価償却の方法として定率法を採用している固定資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

「資産除去債務に関する会計基準」等の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用運用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、当第2四半期連結累計期間の営業利益及び経常利益はそれぞれ670千円、税金等調整前四半期純利益は5,121千円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は9,585千円であります。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	818,534	610,980
売掛金	784,144	751,257
商品	1,099,742	1,006,021
貯蔵品	12,469	12,371
その他	91,680	87,418
貸倒引当金	△21,580	△20,521
流動資産合計	2,784,990	2,447,528
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	976,982	964,186
減価償却累計額	△233,158	△208,542
建物及び構築物(純額)	743,823	755,644
機械装置及び運搬具	22,305	20,685
減価償却累計額	△13,860	△12,820
機械装置及び運搬具(純額)	8,445	7,864
工具、器具及び備品	547,508	556,506
減価償却累計額	△392,688	△385,229
工具、器具及び備品(純額)	154,820	171,277
リース資産	128,475	87,741
減価償却累計額	△23,901	△14,355
リース資産(純額)	104,574	73,385
建設仮勘定	234	1,041
有形固定資産合計	1,011,897	1,009,213
無形固定資産		
ソフトウェア	503,017	517,727
ソフトウェア仮勘定	18,829	61,078
リース資産	16,281	6,986
その他	2,796	2,986
無形固定資産合計	540,924	588,778
投資その他の資産		
投資有価証券	6,756	6,800
関係会社株式	—	12,436
差入保証金	124,008	125,679
その他	5,566	6,765
投資その他の資産合計	136,330	151,680
固定資産合計	1,689,152	1,749,672
資産合計	4,474,143	4,197,200

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	897,332	844,349
1年内償還予定の社債	—	55,000
1年内返済予定の長期借入金	381,092	254,468
リース債務	28,823	18,349
未払金	304,562	288,524
短期借入金	50,000	—
未払法人税等	7,772	24,876
引当金	7,560	501
その他	85,597	96,615
流動負債合計	1,762,740	1,582,686
固定負債		
長期借入金	775,716	597,873
リース債務	97,047	65,668
資産除去債務	10,715	—
その他	2,270	—
固定負債合計	885,749	663,541
負債合計	2,648,489	2,246,227
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,064,387	1,064,201
資本剰余金	1,300,707	1,300,521
利益剰余金	△461,954	△339,417
自己株式	△83,968	△83,968
株主資本合計	1,819,172	1,941,337
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△1,496	△1,452
為替換算調整勘定	△6,235	—
評価・換算差額等合計	△7,731	△1,452
新株予約権	14,213	11,088
純資産合計	1,825,653	1,950,973
負債純資産合計	4,474,143	4,197,200

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
売上高	6,415,443	6,356,483
売上原価	4,310,368	4,277,033
売上総利益	2,105,074	2,079,450
販売費及び一般管理費	1,976,167	2,166,036
営業利益又は営業損失(△)	128,907	△86,586
営業外収益		
受取利息	214	258
受取配当金	60	60
破損商品等弁償金	2,561	2,979
その他	1,276	1,031
営業外収益合計	4,112	4,330
営業外費用		
支払利息	8,882	9,609
持分法による投資損失	2,481	—
為替差損	—	4,923
その他	410	206
営業外費用合計	11,774	14,739
経常利益又は経常損失(△)	121,245	△96,995
特別利益		
新株予約権戻入益	10,256	—
保険差益	—	610
特別利益合計	10,256	610
特別損失		
固定資産除却損	3,924	7,398
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	4,450
固定資産臨時償却費	—	6,407
関係会社株式評価損	12,405	—
規制対応費用	4,068	—
その他	—	242
特別損失合計	20,398	18,498
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	111,103	△114,882
法人税、住民税及び事業税	20,099	3,997
過年度法人税等戻入額	—	△4,622
法人税等調整額	—	2,270
法人税等合計	20,099	1,645
四半期純利益又は四半期純損失(△)	91,004	△116,528

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	111,103	△114,882
減価償却費	139,155	149,825
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	4,450
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,794	1,059
賞与引当金の増減額(△は減少)	1,003	422
ポイント引当金の増減額(△は減少)	—	6,636
受取利息及び受取配当金	△274	△318
支払利息	8,882	9,609
株式報酬費用	3,760	3,125
新株予約権戻入益	△10,256	—
保険差益	—	△610
持分法による投資損益(△は益)	2,481	—
固定資産除却損	3,924	7,398
固定資産臨時償却費	—	6,407
関係会社株式評価損	12,405	—
売上債権の増減額(△は増加)	58,028	△34,757
たな卸資産の増減額(△は増加)	△144,698	△93,819
仕入債務の増減額(△は減少)	262,159	52,982
前払費用の増減額(△は増加)	5,687	△13,357
前渡金の増減額(△は増加)	—	10,228
未収入金の増減額(△は増加)	△1,003	9,012
未払金の増減額(△は減少)	50,739	27,460
未払費用の増減額(△は減少)	6,620	3,849
未払消費税等の増減額(△は減少)	52,540	△15,946
その他	△12,330	20,979
小計	548,132	39,753
利息及び配当金の受取額	274	318
保険金の受取額	—	610
利息の支払額	△8,910	△11,569
法人税等の支払額	△9,491	△20,619
営業活動によるキャッシュ・フロー	530,004	8,493
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△11,903	△25,368
無形固定資産の取得による支出	△46,708	△64,108
貸付けによる支出	△12,999	△2,000
関係会社株式の取得による支出	△10,000	—
敷金及び保証金の差入による支出	△23,632	—
敷金及び保証金の回収による収入	163	2,267
その他	102	102
投資活動によるキャッシュ・フロー	△104,976	△89,106
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	—	250,000
短期借入金の返済による支出	—	△200,000
長期借入れによる収入	100,000	450,000
長期借入金の返済による支出	△115,246	△145,533
社債の償還による支出	△55,000	△55,000
株式の発行による収入	975	372
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△5,092	△11,521
財務活動によるキャッシュ・フロー	△74,363	288,317

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	△3,090
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	350,663	204,613
現金及び現金同等物の期首残高	717,601	613,082
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,068,265	817,695

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

①報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は報告セグメントを事業別としております。

「リテール事業」、「ドロップシップ事業」の2つをセグメントとし、それぞれ包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

「リテール事業」は、健康関連商品の一般消費者向けEコマース事業を行っております。「ドロップシップ事業」は、小売業者向けに当社の健康ECプラットフォーム機能を提供する事業を行っております。

②報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	リテール	ドロップ シップ	計				
売上高							
外部顧客への売上高	5,664,589	641,645	6,306,234	50,248	6,356,483	—	6,356,483
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	5,664,589	641,645	6,306,234	50,248	6,356,483	—	6,356,483
セグメント利益	71,434	11,565	82,999	3,232	86,231	△172,817	△86,586

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、メディア事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△172,817千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用172,817千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

③報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。